



【戦評シート】

平成 17年 5月 3日(火)	協会名： 能代市 バスケットボール協会
場 所：能代市総合体育館	記入者：松橋 亨
チームA 市立船橋 103	チームB 新潟商業 71

スターター	チームA： 4, 6, 9, 10, 16	チームB： 4, 5, 10, 11, 12
ディフェンス (試合開始時)	チームA： マンツーマン ゾーン() その他()	チームB： マンツーマン ゾーン() その他()

両チームともマンツーマンで試合がスタート。試合序盤点数の入れ合いが続いたが、3分過ぎに市立船橋 中村のゴール下シュート、久保のカットインシュートなど4本連続でシュートが決まり5分過ぎには15 - 4と市立船橋が試合の主導権を握る。その後、市立船橋は先発メンバー5人を総入れかえするも戦力は衰えることなく第1Qは、24 - 17の7点リードで終了。

第2Qは、新潟商業 西方の3ポイントが決まってスタート。しかし、市立船橋は神のジャンプシュートや 梁瀬の速攻などが相次いで決まり、3分過ぎには32 - 20と12点のリードを奪う。その後も 中村がゴール下を支配し、久保のカットインなど確率の高いシュートで加点。一方、新潟商業も7分過ぎに 田中がジャンプシュートや3ポイントシュートを立て続けに決め一人気を吐くが、市立船橋が47 - 31の16点リードで前半終了。

第3Qは、序盤から中盤まで一進一退が続く。新潟商業は 芳賀がゴール下をがんばり、一方、市立船橋も 神がゴール下でファイトあふれるプレーを見せる。しかし、終盤市立船橋 梁瀬が3ポイントや速攻を立て続けに決め、70 - 51と市立船橋がリードを広げて終了。

第4Qは、序盤から市立船橋の各選手がまんべんなく得点し、試合の大勢がほぼ決まった。新潟商業は キャプテンの坂上がこのピリオドだけで12点と一人気を吐いたが、試合終了前にも市立船橋 梁瀬が3ポイントやジャンプシュートを確実に決め、103 - 71で市立船橋が快勝した。

試合全体を見てみると、両チームともディフェンスは終始マンツーマンディフェンス。ただ、オフェンス・ディフェンスのリバウンドを圧倒的に支配し、カットインシュートやゴール下でのジャンプシュートなどを確実に決めた市立船橋に軍配があがった。

注意：文面には試合内容のみご記入下さい。